



K-ZONE、日本経済新聞社電子メディア局

(NIKKEI NET) と業務提携

10 月 23 日より共同運営によるサービス開始予定

株式会社ケイゾン(<http://www.k-zone.co.jp>)
日本経済新聞社 電子メディア局(<http://www.nikkei.co.jp>)

インターネット上で個人投資家向けの金融情報サイトを運営する株式会社ケイゾン(*1) (所在地：東京都中央区、社長：吉田武司) は、このたび、NIKKEI NET (*2) を運営する日本経済新聞社電子メディア局と、ケイゾンの運営する投資シミュレーションゲームサイト「TENTOU THE MARKET (*3)」において業務提携しましたことをお知らせいたします。このたびの提携により、「TENTOU THE MARKET」は監修：日本証券業協会、主催：株式会社ケイゾン、協賛：日本経済新聞社電子メディア局によるサイト運営となります。

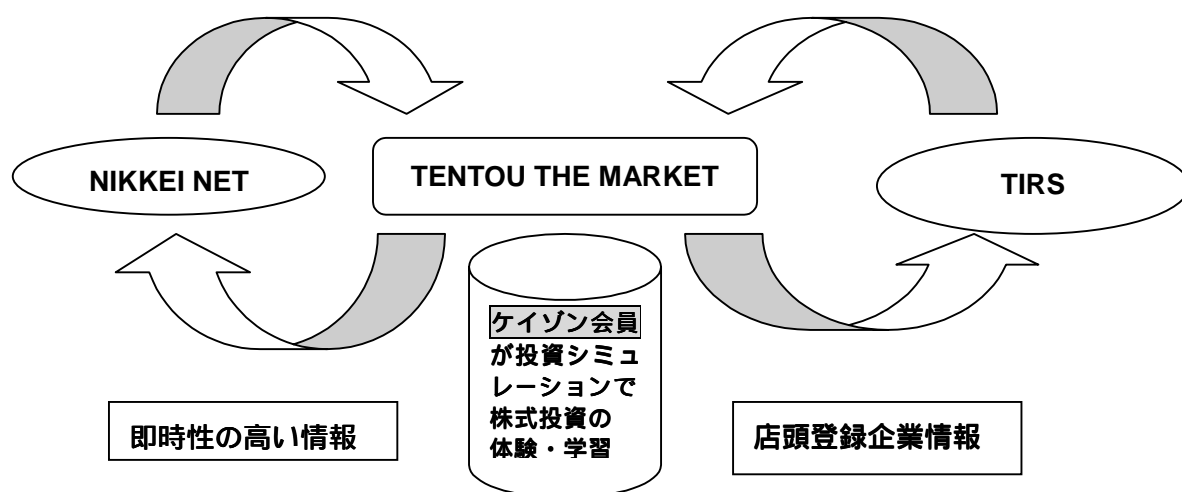
「TENTOU THE MARKET」は、店頭企業の IR の支援及び投資家への情報提供のための具体策の一つとして位置付けられているものであり、日本証券業協会の監修につきケイゾンサイトにて平成 12 年 6 月 19 日より開始されたものです。今回の業務提携により、「TENTOU THE MARKET」は当初予定でありました「当サイトを店頭企業 IR の場に育てる」という目標に向けてのさらなる一つのステップを踏み出したものと考えております。ケイゾンと日本経済新聞社電子メディア局、日本証券業協会はともに、店頭市場のさらなる活性化に貢献し、店頭企業の IR の場として重要な位置付けとなるよう進めて参ります。

ケイゾンと日本経済新聞社・電子メディア局が 2000 年 10 月 13 日の業務提携に至った背景には、株式投資の学習・体験の場として株式投資シミュレーションゲームがインターネットコンテンツのキラアプリケーションの一角を担うまで、多くのユーザーに利用され、成長している点が挙げられます。この提携により、「TENTOU THE MARKET」と「NIKKEI NET」間相互でリンクし、両サイトにおけるコンテンツの充実、ユーザーの拡大が見込まれ、今後の「TENTOU THE MARKET」のイベント性がより高まるものと考えております。

またTENTOU THE MARKET参加者は、NIKKEI NETから即時性の高い情報を収集でき、日本証券業協会提供の店頭市場登録企業情報システム TIRS を利用して企業分析を行い、これらの情報をもとに銘柄選択し、シミュレーションで売買体験ができるという株式投資の一連の流れをよりリアルに体験できることとなります。

図：ビジネススキーム

日本経済新聞社 電子メディア局	株式会社ケイゾン	日本証券業協会
<ul style="list-style-type: none"> ● 広告の販売 ● ユーザーの誘導 	<ul style="list-style-type: none"> ● 運営主体 	<ul style="list-style-type: none"> ● 監修



ケイゾンは10月20日現在会員数が9万9千人を突破し、インターネット視聴率ランキング(JAR 調べ)では金融カテゴリーにおいて1位にランクされるなど、金融特化型のサイトとして順調に展開して参りました。この度のような、ベンチャー企業と大手メディアとの業務提携は、今後、日本のベンチャー企業が成長する過程においての方法論として1つの指針となると考えています。

既に9万9千人を突破した会員のデータベースや、これまで展開してきたウェブ・アプリケーション・サービスの潜在的個人投資家における反響や実績をベースに、今後も金融分野に特化したウェブ・アプリケーションをいち早く展開し、個人投資家のための情報収集や学習・体験の場を提供し、さらなるステージを目指して参ります。

以上

